

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【本太中】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	全国学力・学習状況調査や市学習状況調査の結果から、一定の成果が表れていると言える。年度当初より、学習するツールとしての個別学習アプリの効果的な活用について研究に取り組む。また、アプリの活用時間を、教育課程の中に位置づける等、活用時間の確保に取り組む。
思考・判断・表現	全国学力・学習状況調査や市学習状況調査の結果から、一定の成果が表れていると言える。次年度は、今年度研究したUDLの視点をもって授業に取り組んだことを生かし、生徒自身が学習課題を立て、その目標のために学習を進めていく機会を増やしたい。そして、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を充実させていく。

①	今年度の課題と授業改善策		
	学習上・指導上の課題		授業改善策【評価方法】
知識・技能	<学習上の課題>基礎的・基本的な知識・技能の習得状況が多様化、二極化している。 <指導上の課題>多様化する生徒の実情に合わせて、指導の個別化し、対応していくことが課題である。	⇒	「スタディサプリ」や「ドリルパーク」等、自己の学習レベルにあわせた学習に取り組み、基礎基本の充実をに取り組む。また、学習履歴を確認し、それぞれの生徒に合ったフィードバックを行う。
思考・判断・表現	<学習上の課題>R5全国学力・学習状況調査国語・算数の「思考・判断・表現」の記述式問題の無解答率が高い。 <指導上の課題>グループ活動が増えた半面、活動に充分参加できていない生徒への指導が課題である。	⇒	学習の基盤となる資質・能力における言語能力の育成に重点を置き、授業の中で自分の考えを人に伝える活動を毎回の授業の中で実施する。また、考えを伝える活動が不得手な生徒に対して、活動前にそのねらいや方法、考え方等を伝える場を設定する。

⑤	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能	B	授業や家庭学習、長期休業の課題等において、個別学習アプリを活用する計画であったが十分ではなかった。基礎基本の充実という点では、各教員が授業において個別学習の時間を設けることで、個々にあった学習進度で学ぶことができる体制づくりに取り組んだ。
思考・判断・表現	A	学校課題研究の中で、学び方や人数を生徒自身が決め、自分に合った学び方で学ぶ機会を授業の中に取り入れる研究を進めた結果、「これまでの授業では、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていましたか」の設問に対し、市平均を上回るよい結果となった。

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	R6全国学力・学習状況調査において、全国平均と比較し、国語、数学ともに非常によい結果となっている。特に数学については、ほとんどの問題において10%以上平均を上回っており、生徒の学力向上が見られる。課題としては、全国平均が50%に満たない問題については本校の結果も同様に低くなっている。今後、指導法について研修等で検討し、改善を図っていきたい。	
思考・判断・表現	R6全国学力・学習状況調査において、全国平均と比較し、国語、数学ともに非常によい結果となっている。一方で、「思考・判断・表現」の問題については、無回答率が10%以上となっている問題が散見される。特に、様々な事象について説明する問題にこの傾向が強く、本校の課題である「人に伝える」活動について、継続して行っていく必要がある。	

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	令和6年度さいたま市学習状況調査において、市の結果と比較して、全ての教科の「知識・技能」で平均を上回ることができた。教科によっては10pt以上上回るものもあり、授業で学んだ知識がしっかりと定着していることがうかがえる。今後、各教科ごとに本校生徒の傾向を分析し、指導に生かす。
思考・判断・表現	令和6年度さいたま市学習状況調査において、市の結果と比較して、全ての教科の「知識・技能」で平均を上回ることができた。「知識・技能」とは異なり、市平均と比較して、10pt以上上回った教科はなく、今後のさらなる研究をとおして、生徒自ら学びに向かう力を身につけ、思考する力をつけさせていきたい。

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	B	「スタディサプリ」や「ドリルパーク」等に取り組むなど、基礎基本の充実を図るとともに、個別最適な学びについての取組を行っている。学習履歴の活用については今後さらに研究を深めていきたい。	変更なし
思考・判断・表現	B	言語能力育成に係る人へ伝える活動について、これまでと同様、継続して多くの授業で取り入れることができている。不得手な生徒への対応についても、徐々にではあるが改善が進みつつある。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)